土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一般国道　375号　道路災害防除事業に伴う測量調査設計業務委託（単独）

事業・工事名

調査目的及び調査対象　道路　構造物基礎

ボーリング名	Boring No.2	調査位置	一般国道　375号　道路災害防除事業に伴う測量調査設計業務委託（単独）			北緯	34° 53’ 06.8792″
発注機関	広島県北部建設事務所			調査期間	令和5年 4月19日～ 令和5年 4月21日	東経	132° 40’ 58.5556″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 108.63m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 90°東 180°南 270°西	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1B-48
総削孔長	11.00m								エンジン：ヤンマーNFD12　ポンプ：丸山MS1503-A

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図	N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1						暗灰			地表面からGL-0.45mまで舗装				1.15											
						暗青灰	rd3		砂は中～粗砂を主体とする 径2～4cmの礫を20～30%混入する			13	1.45	3	5	5	13/300						
2				粘土混じり礫混じり砂									2.15	1	2	3	6/300						4/19
						暗褐	rd2		細粒土分を10～20%混入する			6	2.45										
3								rd1	GL-2.80～3.00mにアスファルト片を混入する				3.15	1	1	1	3/300						
									GL-2.00m付近まで部分的に礫を多く混入する所では砂礫状を呈する			3	3.45										
4	104.18	4.45					rd3						4.15	5	5	1	11/300						
	103.88	4.75		玉石		暗褐灰			粘板岩質　L=30cmの転石			11	4.45										
5				粘土混じり礫混じり砂									5.15	1	1	1	3/300						
	103.13	5.50				暗褐	rd1		砂は中～粗砂を主体とする 径2～4cmの礫を10～20%混入する			3	5.45										
6				礫混じり砂									6.15	2	6	4	12/300						
	102.08	6.55				暗褐	rd3		砂は均粒な中砂となる 径3cm以下の礫を20～30%混入する	4/21 6.50		12	6.45										
7				安山岩		青灰褐			CM級岩盤 径5～10cmの岩片状～短柱状コアで採取する														
8	99.88	8.75							亀裂沿いは暗褐色～淡褐色に変色する 部分的に径5cm以下の礫状となる														4/20
9				安山岩		青灰褐			CL級岩盤 径5cm以下の礫状～岩片状コアで採取する														
10									部分的に土砂化する GL-9.05～9.20m間は粘性土化している														
11	97.63	11.00							標準貫入試験は貫入不能となる														4/21
12																							
13																							
14																							
15																							
16																							